

高校生ワークショップを開催しました

神栖市都市計画マスタープランの見直しにあたり、次世代を担う高校生のまちづくりに対する意見やアイデアを計画の参考とするため、市内3つの県立高校を対象に、当市の特徴を捉え、身近なまちの課題や改善案を考えたり、将来の生活をイメージしたりと、神栖市での暮らしをテーマとしたワークショップを行いました。

第1回 高校生ワークショップ

波崎高校	平成30年2月21日	11:20～14:10	参加人数：14人
神栖高校	平成30年2月23日	10:55～12:45	参加人数：35人
波崎柳川高校	平成30年2月23日	15:40～17:40	参加人数：12人

前半ワークショップ

「みんなが暮らしている神栖市はどんなまち？」

前半のワークショップでは、普段あるいは休日にどんな場所を利用しているかを地図に示しました。



▲前半ワークショップの様子



▲発表の様子

後半ワークショップ

「これから暮らしていく神栖市をどんなまちにしたいですか？」

後半のワークショップでは、神栖市で「どんなことができるか楽しいか」、「どんなものがあるといいか」、「どんなものを残したいか」についてグループ内で考えを出し合いました。



▲後半ワークショップの様子

第2回 高校生ワークショップ

神栖高校	平成30年5月28日	10:55～12:45	参加人数：34人
波崎高校	平成30年5月28日	15:50～17:50	参加人数：12人
波崎柳川高校	平成30年5月30日	15:50～17:50	参加人数：12人

SESSION1

「未来の神栖市のイメージをつくろう」

「未来に残していかなくてはならないもの」、「工夫や改善をして良くしていかなくてはならないもの」、「これからの神栖市に必要なもの」をテーマに、写真をいれた紹介カードを作り、地図上に示しました。



▲SESSION1の様子



▲発表の様子

SESSION2

「未来の神栖ライフをイメージしよう」

20年後、自分がどんな暮らしをしているか、未来のライフスタイルをイメージしました。仕事、すまい、家族、遊び・趣味、おすすめの場所など、具体的にイメージしたものを書き出しました。



▲SESSION2の様子